

初心者のための

保険請求事務講習会(医科)のご案内

2012年6月 兵庫県保険医協会

これから保険請求事務を始める初心者の方や保険診療の基礎を再学習されたい方を対象とした、初級保険請求事務講習会を開催します。

保険診療の仕組みから、点数計算、レセプトの書き方など、保険請求事務の基礎を2日間のコースで講習します。ふるってご参加ください。

【神戸会場②】(①は終了しました)

日時 9月8日(土)～9日(日)

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室

(JR・阪神「元町駅東口」から 南へ徒歩7分)

【姫路会場】

日時 8月4日(土)～5日(日)

会場 姫路商工会議所会館 新館2階201研修室

(JR「姫路駅」から 北東へ徒歩20分)

【西宮会場】

日時 9月1日(土)～2日(日)

会場 西宮市民会館 3階301研修室

(阪神「西宮駅」下車 北へ徒歩1分)

◆プログラム

<1日目>午後2時30分～午後5時30分(姫路会場のみ午後3時～6時)

*保険診療とは *窓口業務 *薬剤点数計算など

<2日目>午前10時～午後3時

*診療報酬請求の実務 *レセプト作成実習(外来分のみ)

◆定員 各会場とも80人(定員になり次第締切)

◆参加費 8,000円(テキスト・資料代、2日目の昼食代を含む)

◆2日間とも参加された方には「修了証」を発行します

参加お申込み・お問い合わせは、協会事務局 TEL 078-393-1803 まで

兵庫県保険医協会

252号 2012年7月25日

神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

支部企画 「アナウンサーが明かすプロのスピーチ術」感想

訓練でだんだん良い声に

魅力的なスピーチのコツ学んだ



48人が参加し、スピーチ上達のポイントを学習した

神戸支部は、6月23日に協会会議室で支部企画「アナウンサーが明かすプロのスピーチ術」を開催し、48人が参加した。八戸大学人間健康学部 & ビジネス学部非常勤講師で、放送局でのアナウンサー経験をもつ田村正浩氏が講演し、実践を交えながらスピーチ上達のためのポイントを解説した。参加者の感想文を紹介する。

以前から私は数人が集まる程度の席では喋ることが出来ますが、大勢の人を相手に話すのには緊張するので苦手でした。この度、神戸支部企画「アナウンサーが明かすプロのスピーチ術」に大変興味をもって出席しました。

田村講師のお話は、スピーチの基本は「声をしっかり出すこと」と「言葉をはっきり発音すること」であり、そのためには腹式呼吸法(これは緊張を解きほぐすのに役立つ)で、お腹を使って声を出す
----- (2面につづく)

(1面からつづく)-----
こと、口を大きく開けて発声することです。例文を使って腹式呼吸・発声・発音の訓練を行いました。繰り返しているうちに皆さんだんだん良い声が出るようになりました。

上手で聞きやすいスピーチは1)結論から先に喋る、2)センテンスを短くする、3)テーマをしぼる、4)間を取りながら喋る、5)場の空気を読み、自分

本位の喋りをしない、等に注意することです。そして序論～本論～結論の3段構成ができたならプロ級とのことでした。

田村講師は生き生きと熱意をもって話をされ、活発に質問も出て、役立つことをたくさん学んだ2時間でした。

東灘区・瓜生原 恒男
(瓜生原内科医院・医師)

(2面からつづく)-----



実践的な研修会と好評を得た

遇、ノーを伝える、お願いの仕方、こんな方法や言い回しがあるのだ等、そして

根底にある敬いの心、感謝の心と柔軟さやしなやかさが先生にはいつも流れているのだと感じた。

私はとてもここまでいけないが、今までモンスターは初めからいると思っており、むしろ退治しなくてはと思っていたのが恥ずかしいことだと反省し、そして何より、今回来られなかった他のスタッフにも次の機会には是非聞いてもらいたいとの思いを強くした。

東灘区・森垣 駿
(森垣胃腸科外科・医師)

職員接遇研修会 感想

感謝の心としなやかさを学んだ研修会



森藤ちひろ氏が講演した

職員接遇研修会が好評を得ている。4月21日に「患者をモンスターにしない接遇」をテーマに開催したところ、定員を大きく上回る申し込みを受けた。再度の開催の要望も多く、6月30日に今年2度目となる研修会を協会会議室で開催した。今回は、「伝える力を育む接遇基礎研修～初対面で好かれる上手な話方～」をテーマに、大阪大学医学部附属病院特任助教の森藤ちひろ氏が講演。医師・歯科医師を含む65人が参加した。参加者からの感想文を紹介する。

「えっ!!モンスターは初めからいるんじゃないの?私たちがつくるの?」と、早速スタッフ5人で4月開催の研修会「患者をモンスターにしない接遇」に出席希望を出したが、初回は皆困っている方も多いのか、全員はじかれた。改めて今回の、「伝える心を育む接遇研修会～初対面で好かれる上手な話し方～」に申し込んだ。

講師は、大阪大学医学部附属病院より来られた森藤ちひろ先生。ご経歴のとおり、いろいろな経験やご苦労を実際にな

さってこられただけに、実践的で私たちが引きつけるお話であった。

私はたいてい講義の途中で少し心地よくなる習慣があるが、なかなかそうはさせてもらえなかった。確かに言葉遣い一つで、「着る→お召しになる」、「来る→お見えになる」ほか沢山の丁寧な言葉を聞くだけで心地よい。更に、場合によっては相手に考えてもらう、間違ったことは謝る、クレームを言う全く相対する立場の両者の対応、納得されない場合の接----- (3面につづく)

県立こども病院ポーアイ移転

撤回求め議会請願

県立こども病院のポーアイ移転めぐり、協会は県下自治体への請願活動を行っている。神戸支部でも兵庫県会に対し、移転計画の撤回を求める請願書を提出するとともに、神戸市会にも県への意見書を提出するよう求めた。

審議の結果は県会・市会ともに不採択。他の地域では宝塚市議会が趣旨採択、三田市議会でも継続審議となっている。

また、協会は県病院局にも申し入れを行った。災害への想定が不十分であるという協会の指摘に対し、病院局は「防災時の備えと平時の利便性のバランスを考慮した結果」との答弁に終始。満足な説明と回答を行わなかった。

協会・神戸支部は引き続き会員の意見・要求を集め、計画の白紙撤回を求め運動していく。協力をいただきたい。

なお、これらの取り組みについては兵

2012年6月28日

神戸市会議長
藤原 武光 様

**県立こども病院のポーアイ移転計画の
中止を求める意見書提出についての陳情書**

【陳情者】 神戸市中央区海岸通1-2-31神戸フコク生命海岸通ビル5階
兵庫県保険医協会神戸支部
支部長 田中 孝明
(住所) 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5F

【陳情主旨】
県立こども病院は、出産時から小児・障害児などのための総合小児医療センターで、通常の医療機関では対応が困難なこどもを受け入れる高度な医療技術と、児童の発達環境を含めて提供する病院です。
こども病院は、本館が築後40年となり、老朽化のために建替えが必要となっておりますが、設計専門家は、現地での建替えが可能であると判定しています。ところが、兵庫県は神戸市中央区のポートアイランド2期地にある新中央市民病院の隣接地に移転する方針を表明いたしました。
しかし、昨年の東日本大震災の経験でも、私たち阪神・淡路大震災の経験からも、沿岸地に災害時の拠点となるべき病院を集中させることは、防災上避けるべきものであることは明らかです。この教訓を真摯に活かさなければなりません。
当会は、開業医師・歯科医師の団体として会員アンケートを実施しましたが、移転に対して「反対」「どちらかといえば反対」が多数となっております。
こうした中で、当会と致しましては、防災上の問題やアクセスの問題、さらに周産期医療センターを一方所に集中することの問題などを示して、ポートアイランドへの移転に反対しており、兵庫県医師会、神戸市医師会並びに兵庫県小児科医会、兵庫県産婦人科学会も移転に反対の意見を表明しています。
また、県が3月23日に発表した東海・東南海・南海地震津波シミュレーションでは、ポートアイランドも孤立化する可能性があることが明らかになっており、先日の爆弾低気圧の際、ポートライナーが運行停止し、アクセスの不安定さを露呈したばかりです。
つきましては、神戸市における小児医療体制に重大な影響をもたらすものとして、ポートアイランドへの移転計画見直しを求める意見書を、兵庫県にご提出いただきたくお願い申し上げます。

【陳情事項】
1. 県立こども病院のポートアイランド移転計画の中止を求める意見書を県に提出すること。

以上

兵庫保険医新聞 1692号(7/15付)でも詳しく報道されている。こちらも参照いただきたい。